

11月11日～12月12日
電池月間



平成13年6月1日

でんち

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

社団 法人 電池工業会

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8
機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)
E-mail. bajapan@hi-ho.ne.jp
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>
振替口座 東京8-91022
発行人 木村侃丘
定価1部郵送による年決め2,400円

平成13年度第1回環境総合委員会開催

平成13年4月18日午後1時より、機械振興会館(6-62会議室)において河合委員長(東芝電池(株)取締役)を議長に平成13年度第1回環境総合委員会が開催された。

会議は河井委員長の挨拶で始まり、事務局報告、改正リサイクル法に基づく小形二次電池並びに二次電池の回収対応の状況、海外関係の環境規制に関する最近の状況などについて報告があり、最後に電池工業会 環境行動計画の改正案について審議、決定した。

○出席者：委員 16名 事務局 5名

1) 事務局報告

①臨時理事会決定事項の報告

蓄電池設備認証センター、小形二次電池再資源化推進センターを工業会に設置することなどについて報告があった。

②二次電池、小形二次電池回収、リサイクル状況

4月から施行された改正リサイクル法の内容と、これに対応するための回収再資源化プログラム、小形二次電池再資源化推進センターの概要などについて報告があった。

③海外関係の環境規制に関する最近の状況

中国の水銀規制を中心に報告があった。



④一次電池関係の環境対応状況

再資源化技術開発の取り組み、埋め立て実験 15年の記録ビデオの紹介などがあった。

⑤容器包装識別表示への対応状況

マニュアルやガイドラインの作成、配付などについて説明があった。

2) 審議事項

環境行動計画の改定

現在の環境行動計画は平成11年1月に制定されたが2年経過し内容を更新する必要あること、および行動計画表を電池工業会活動の項目と会員会社の指針に分けてわかりやすい内容にする必要があることなどの説明と改定内容の提案があり、承認された。なお、環境行動計画の改訂版は5月末までに印刷し、会員会社に配付する予定である。

第33回(平成12年度)市村賞受賞の栄誉!

「リチウムイオン二次電池(LIB)の開発と製品化」で(株)エイ・ティーバッテリーが功績賞を
「リチウムイオン二次電池の開発と実用化」でソニー(株)が貢献賞を受賞。

市村賞は、リコー三愛グループ各社を統轄した創業者、故志村清氏の紹綏褒賞受賞記念として昭和43年に設立された(財)新技術開発財団が行っている事業の一つで、科学技術の進歩、産業の発展、文化の向上、その他国民の福祉に関し、科学技術上貢献し、優秀な国産技術の育成に功績のあった事業経営者ならびに技術開発者を表彰するものである。

(社)電池工業会では、立候補を申請された(株)エイ・ティーバッテリーとソニー(株)を(財)新技術開発財団に推薦していたが、このたび両社共に「リチウムイオン電池*」での技術が認められ功績賞と貢献賞の受賞が決定した。

贈呈式は4月27日ホテル・オークラにおいて、財団の総裁であられる三笠宮寛仁親王殿下のご臨席の元、莊厳に行なわれた。又、贈呈式後の受賞記念パーティ会場では、受賞者の研究内容を示すパネルと製品が並べられ、歓談中に意見交換が出来るようになっていたため、各界の著名人からは質問等が活発にあり、華やかな雰囲気の内にパーティは終了した。

今回の受賞は(株)エイ・ティーバッテリーとソニー(株)の二社の栄誉であると共に、同業他社を含めて電池業界の技術者にとって大きな刺激となり、更なる技術開発に躍進



が期待出来る受賞であると確心をしています。

今後共電池の開発にたずさわる若手技術者が本賞にチャレンジされる事を期待しています。両社の技術者の皆様受賞誠におめでとうございました。

*今回の対象になった「リチウムイオン電池」は、生産金額が2971億円余(2000年)で、電池総生産金額の34.7%と大変に大きな構成比を示し、この電池系で支えられる機器類は国内、海外の携帯電話、パソコン、ビデオカメラなど多岐に亘っている。

2001年ニュー環境展に出展 「充電式電池の回収とリサイクルを呼びかけ」

循環型社会の構築を目指すとともに、環境ビジネスの振興、創出を図ることを目的に、去る5月29日～6月1日の4日間「2001年ニュー環境展」が東京ピックサイトで開催されました。

(社)電池工業会も小形充電式電池の回収・リサイクルの呼びかけと電池の用途等電池自体の啓もう活動を併せて行ないました。

特にポイントの回収・リサイクルの呼びかけについては「リサイクル大作戦」、「暮しの中の電池」及び「使い終った電池どうするの」の参加者への提供部数が約600部を越えた事と資料の中味の説明を求めた参加者も多く効果的なPRができたものと考えています。



今回の出展に対して協力をして頂きました小形二次電池広報委員会の皆様に対し感謝いたします。

平成13年 4月度の電池工業会活動概要

部会	4月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
その他 特別 会議	4日(水)	一次電池部会	*平成13年度一次電池部会事業計画並びに予算を承認
	18日(水)	環境総合委員会	*環境行動計画改定案の決定、各部会環境対応状況B報告
	27日(金)	市村賞授賞式	*リチウムイオン二次電池の開発・製品化で電池工業会傘下の二社が受賞
二次 電池 部会	3日(火)	小形鉛分科会	*今年度改正予定のJIS 及びSBA規格の改正案。
		自動車用電池リサイクル分科会	*改正リサイクル法に伴うマニュフェスト見直し、離島での回収、輸入電池の実態調査。
	4日(水)	密閉形鉛蓄電池リサイクルプロジェクト委員会	*認定申請準備。
	5日(木)	電気車用電池リサイクル分科会	*回収の現状把握、問題点、今後の方針を審議。
	9日(月) ~10日(火)	密閉形鉛蓄電池リサイクルプロジェクト委員会	*認定申請準備、9日はUPS業務委員会と、9・10日は経済産業省と、9日は環境省と打合せ。
	12日(木)	用語分科会	*H12年度作成した改正SBA規格(蓄電池用語)の初校。
	13日(金)	密閉形鉛蓄電池リサイクルプロジェクト委員会	*認定申請準備。
	16日(月)	密閉形鉛蓄電池リサイクルプロジェクト委員会	*認定申請準備、16日は経済産業省と打合せ。
	17日(火)	自動車鉛分科会	*今年度改正予定のJIS。5月開催のIEC国際会議に提出する日本コメント。
	18日(水) ~20日(金)	密閉形鉛蓄電池リサイクルプロジェクト委員会	*認定申請準備、20日はリサイクル拡大事務局と合同で審議。
	18日(水)	PL合同委員会	*二次・小形二次・一次電池3部門の幹事会。表示ガイドライン等情報交換。
		電気車用電池統計分科会	*1~3月の需要動向、平成13年度の需要予測。
		据置鉛分科会	*今年度改正予定のSBA指針の改正案。共用部品の改良。IEC国際規格原案。
	19日(木)	自動車用電池 直需小委員会	*平成13年度活動計画推進の審議。
小形 二次 電池 部会		広報委員会	*記者懇談会、モーターショウの内容・日程の検討。
		小形シール鉛分科会	*産業用密閉形鉛蓄電池リサイクルスキームについて。
		自動車用電池委員会	*懸案事項確認、今後の進め方審議。
		資材委員会	*密閉形鉛蓄電池リサイクル関係、リサイクラーとの打合せ。
		自動車用電池 需要予測小委員会	*三菱総合研究所よりヒヤリング、投票値確認及び投票。
		電気車鉛分科会	*今年度改正予定のJIS及びSBA規格の内容。H13年度の活動計画。
	20日(金)	自動車用電池技術サービス小委員会	*電池工業会ホームページ掲載内容(案)の校正。
一次 電池 部会	23日(月)	二次電池リサイクル・リサイクルプロジェクト合同委員会	*リサイクラーへの説明会、経済産業省との打合せ(UPS業務委員会と同行)。
		電気車用電池(小)・リサイクル合同委員会	*電池全体のリサイクル動向と、電気車電池リサイクルの今後について。
	24日(火)	産業用電池小委員会	*平成13年度活動計画推進の審議。長寿命密閉形蓄電池の補償について。
		産業用電池統計分科会	*販売、需要の投票。平成13年上期需要予測。
		据置アルカリ分科会	*今年度改正予定のJIS 及びSBA規格の改正案。
	27日(金)	二次電池リサイクル・リサイクルプロジェクト合同委員会	*電機工業会・UPS業務委員会と審議(密閉形鉛蓄電池リサイクルについて)。
	5日(木) ~27日(金)	サポート委員会	*毎週2日(木、金)合計8日間、再資源化推進センターのサポート委員会実施 *再資源化委員会を中心としたサポートから、業務、広報を含む合同サポート委員会とし、5月~7月は、毎週1回のペースで開催し、推進センターの活動を支援
	11日(水)	リチウム二次分科会	*IEC規格の継続審議及び新主査:日立マクセル島委員にて議事進行
	13日(金)	ニカド・ニッケル水素分科会	*IEC規格の審議及び用語関連報告と役割分担を新統合分科会主査:三洋武江主査で議事進行
		アルカリ分科会	*平成12年度の活動結果及び平成13年度の活動計画他
	17日(火)	広報委員会	*リサイクル活動の裾野の拡大方策について協議
	18日(水)	PL合同幹事会	*一次、二次及び小形二次PLの代表者により、平成12年度の活動結果、平成13年度の活動計画について意見交換した。
	20日(金)	業務委員会	*平成13年3月度の小形二次電池出荷実績の検討
	26日(木)	再資源化委員会	*アルカリ、リチウムイオン及び小形シール鉛分科会の平成12年度活動結果及び平成13年度の活動計画、再資源化推進センターのサポート体制の確立など
	4日(水)	一次電池部会	*乾電池再資源化実験と各委員会の報告及び予算案の承認
	5日(木)	業務委員会	*需要予測の推定の仕方、多本プリスターバックへの対応の仕方等の確認
	11日(水)	環境委員・環境小委員合同委員会	*新委員会体制並びに委員の登録。 *再資源化技術をより広範囲に調査・検討してゆく
	12日(木)	一次電池技術委員会	*小委員会報告・新旧主査交替、13年度運営方針修正確認、小委員会の効率化
	13日(金)	中央共同募金会	*本年の活動内容と寄贈スケジュールの確認
	20日(金)	広報委員会	*電池啓蒙諸資料の記述内容の討議と確定
	25日(水)	IEC/規格小委員会	*平成13年度JIS規格審議計画とIEC国際規格対応を協議

業界動向

*アルカリ乾電池 モバイル機器の拡大と軌を一にして、一次電池の再販市場でアルカリタイプの占める割合が7割となった。

(4月3日付 化学工業日報)

*三洋電機 携帯電話を中心に、角形リチウムイオン電池の生産能力を更に300万個増強、今年度上期中に生産は月産2300万個体制へ。

(4月4日付 化学工業日報)

*パナソニックEVエナジー 今年度はハイブリッド車向けに蓄電池システムの25%増産を予定。

(4月4日付 日経産業)

*カシオ デジカメ、血圧計等を腕時計スタイルで装着して使う腕時計型情報機器の出荷を本年度は前年度比38%増(55万個)とする事を計画中。

(4月5日付 日経産業)

*富士写真フィルム 中国国内向けのデジカメの生産・販売会社を現地企業との合弁で蘇州に設立、6月から生産を開始へ。

(4月5日付 日経)

*松下電池工業 次世代二次電池と目されているリチウムポリマー電池の大幅増産を計画、来春から既存の倍の月産100万個体制で供給を開始。

(4月6日付 化学工業日報)

*東芝 独自開発の新型リチウムイオン電池を用い、PDA等の新規市場の開拓を本格化させ、リチウムイオン電池事業を拡大へ。又、多くのアプリケーションに対応する為、深谷工場にフレキシブルラインを今秋から稼働させる。

(4月6日付 日刊工業)

*広島大・マツダ・広島県立西部工業技術センター 水素吸蔵合金をナノメーターオーダーの膜厚に制御する事により、従来に比べ水素の吸蔵能力が3倍増になる事を確認。水素吸蔵合金は、HEVに加え燃料電池車の水素吸蔵シス

テムへの応用を狙い、吸蔵能力の向上を図る開発が本格化している。

(4月9日付 化学工業日報)

*トヨタ 燃料電池車を2010年を目安に量産化。尚、その間はHEVで環境規制には対応する。

(4月10日付 日刊工業)

*住友電気工業 太陽光発電システムの併設設備として、変動しやすい当該電力の安定化に役立つフレックスフロー型の蓄電池をユーザーに納入。

(4月12日付 日刊工業)

*ティーエムシー(大阪) リチウムイオン電池のスクラップから回収した高品位のコバルトを電池メーカーに供給する電解精錬回収技術を開発し、サンプル供給を開始。(4月12日付 日刊工業 & 4月19日付 日経産業)

*東邦亜鉛 亜鉛、鉛等の精錬部門の健闘等により2001年3月期の営業利益が大幅増。

(4月13日付 日経)

*ホンダ 電動アシスト自転車(ステップコンポ)を系列ディーラーの店頭でも発売、尚本品は車載での充電が可能。

(4月13日付 日経産業)

*コスモ石油 プタンガスを燃料にした家庭用燃料電池を開発、2004年の商品化を目指す。

(4月13日付 日経産業)

*東芝 デジカメ低価格モデルの投入で、成長が著しい米国での拡販に注力を開始。

(4月13日付 日刊工業)

*グリーン購入法 国、及び関連する行政団体が物資やサービスを調達する場合、環境について配慮した製品を優先的に購入する事が課せられた「グリーン購入法」が4月1日から施行。

(4月14日付 電波)

*EPA(米国) 米環境保護庁は鉛取扱業者に新規制。鉛を年間100ポンド(45.5Kg)以上扱う事業者に排出量の報告義務を拡大させる。

(4月19日付 化学工業日報)

*三洋電機 市販二次電池の新製品として、高容量の単三形ニッケル水素電池(Min1600mAh)とサイクル寿命を1000回に引き上げた長寿命ニカド電池を開発、6月から発売へ。

(4月19日付 電波)

*日産 水素を用いた燃料電池と小型リチウムイオン電池の二つを動力とするハイブリッド型の燃料電池車を試作、カリフォルニア州の一般道路での走行試験を行い基礎データーの蓄積を開始へ。

(4月20日付 日本経済)

*三洋電機ソフトエナジーカンパニー 井植 敏雅社長、顧客の多様なニーズに対応する為、4月1日付で二次電池部門の組織を製品別から機能別へ変更する事を語る。

(4月20日付 日刊工業)

*三洋電機 太陽電池の新工場を島根県に建設し年内に稼働させる旨を発表。

これにより同社の太陽電池の生産能力は、既存工場を合わせると二倍の33メガワットになる。

(4月22日付 日本経済)

*松下電池工業 間欠充電制御方式により、ニカド電池の二倍、常温で10年以上の寿命を有するバックアップ電源用ニッケル水素電池「Hシリーズ」三機種を開発、5月以降順次発売を開始へ。

(4月23日付 電波)

*携帯電話 今年の携帯電話市場の需要予測が、日米欧市場の飽和等に起因し、下方修正もあり得る旨が「第三回JASVAアクションセミナー」で発表される。

(4月23日付 化学工業日報)

*マキタ 中国での電動工具の生産体制を強化、二社目の製造子会社を江蘇省に設立へ

(4月23日付 日刊工業)

*松下電池工業 260°Cの高耐熱性を有するマンガンリチウム二次電池の開発に成功。来月からサンプル出荷を開始、11月には月産50万個規模の量産に移行。

(4月25日付 化学工業日報&電波)

*経済産業省 固体高分子型(P-EFC)、溶融炭酸塩型(MCFC)及び固体酸化物型(SOFC)の各燃料電池について、2001年以降の長期計画を策定、実用化の見極めを急ぐ。

(4月25日付 化学工業日報)

*SII(セイコーインスツルメンツ) ブルートゥース対応の腕時計型の情報端末を開発、来春を目処に製品化を予定中。

(4月26日付 日経産業)

*新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 太陽電池で今後5年間に「先進太陽光発電技術の開発」「革新的次世代電池システムの開発」「共通基盤技術の開発」等に乗り出す。

(4月26日付 日刊工業)

*デジタル機器 デジタル機器のアジア生産が本格化。ソニーグループはプレステーションを中国で、キャノンはデジカメ生産をマレーシアで、又オリンパスはデジカメを中国で近々生産を開始させる。

(4月26日付 日経)

*三洋電機 東芝電池からのニッケル水素電池事業の受け取りが完了した旨を発表。これにより、東芝電池高崎工場は三洋エナジー高崎として発足する事になる。

(4月28日付 電波)

(社)電池工業会のイベント紹介(2) 「手づくり乾電池教室」について

社団法人電池工業会では、11月11日「電池の日」の行事の一環として、小学生(主として3~5年生)を対象に「手作り乾電池教室」を1988年から開始し、本年に至るまで継続しています。

活動の趣旨は、テレビゲーム、各種リモコン、おもちゃ、時計など、日頃乾電池と接する機会の多い小学生を対象に、乾電池の仕組みや構造を実際に勉強していただき、電池に対する理解を深めていただくために実施している啓蒙普及活動の一つで、主催は現在では(社)電池工業会と全国の科学館、こども館が共同して行っています。

本年も7月26日の北海道岩見沢郷土科学館より開催を開始し、10月上旬までの間に全国13会場において実施(参加人数 合計600名)を予定しています。

又本年からは電池の正しく安全な使い方についても工夫を入れて啓蒙をして行きたいと考えているので宜しくお願ひいたします。尚、次回はバッテリー賞について紹介を致します。



新製品ニュース

業界最高レベルの電池寿命実現 特に高温環境下で優れた充電効率 バックアップ電源としてのニッケル水素電池を開発・量産

松下電池工業(株)(社長 安田 幸伸)は、業界最高レベルの電池寿命を持つバックアップ電源用ニッケル水素電池3機種を開発し、発売します。これらの電池は間欠充電制御方式^{(*)1}により、10年以上^{(*)2}の寿命(ニカド電池の2倍以上)を持ち、特に高温環境下において優れた充電効率を実現しました。コンピュータのメモリーバックアップ、UPS、通信基地局等多様な機器用に長期間安定したバックアップ電源としてご使用頂けます。

品名	バックアップ用 ニッケル水素電池 H【High Temperature(高温)】シリーズ
品番	HHR250SCH、HHR210AH、HHR350AH



[特長]

1. 長寿命

- 常温環境下での使用では10年以上の寿命が期待できます。
- 40°Cの高温環境下でも8年以上の寿命が期待でき(従来のニッケル水素電池では3年~4年)また2000回以上^{(*)3}の充放電が可能です。

2. 高温時の充電においても高効率充電

- 25°Cで充電した時の充電効率を100%とすると、60°Cにおいても80%の充電効率が得られます。

3. ダウンサイズ/容量アップ

4. 省エネルギー

- 間欠充電の電気代はトリクル充電^{(*)4}の1/30です。

*1 自己放電を補うように、一定の時間間隔を置いて充電する方式

*2 温度、放電条件によって、期間は変動します

*3 JIS/IECサイクル耐久テストによる

*4 自己放電分を常に補うように継続的に充電し続ける方式

新製品ニュース

デジタルカメラやデジタルメモリプレーヤーなど、ますます伸びる充電式電池需要に高容量単3形ニッケル水素電池を発売

ニッケル水素電池及びニカド電池に代表される充電式電池(二次電池)は、安定した電圧で大電流を連続供給できるという特性と、約500回以上の充放電が可能なため、経済性に優れたりサイクルが可能な省資源型商品です。

近年、デジタルカメラ、ポータブルMDプレーヤー、デジタルメモリプレーヤー、PDAなどの高容量を必要とするモバイル機器が増加しており、充電式電池を使うことによる経済的メリットや、リサイクル可能で環境保全にも貢献できることが注目されてきております。

このような状況を鑑み、三洋電機株式会社ソフトエナジーカンパニー(社長 井植 敏雅)ではより一層の高容量化を実現した市販用単3形ニッケル水素電池『Ni-MH1700』を発売致します。



[特長]

1. デジタルカメラ、ポータブルMDプレーヤー、デジタルメモリプレーヤー、PDAなどの高容量を必要とするモバイル機器に、適した電池です。
当社従来品よりも、100mAh(約6%)の高容量化を達成し、Min.1,600mAh^{*2}の容量を実現。機器の長期間駆動化に貢献します。
2. 環境に配慮したリサイクル可能な省資源型商品です。

カーバッテリー《ハイパワーeシリーズ》を新発売

新神戸電機(株)(社長 宮嶋 弘)では、主にバッテリー専門店(特約店・販売店など)向けカーバッテリーの商品を一新し、わかりやすく選びやすい21世紀にふさわしい高性能ラインアップのカーバッテリー《ハイパワーeシリーズ》「EXTRA GRADE・HIGH GRADE・STANDARD GRADE」として、4月より新発売致しました。

《ハイパワーeシリーズ》の「e」とは、「Evolution(進化)」、「Excellence(優秀)」、「Ecology(環境)」の3つのコンセプトをひとつに融合し、ネーミングしたもので。

信頼性、始動性、高温耐久性を向上させるなど高性能化を図り、また、保存性の向上による商品管理の省力化や、業界で初めて「バッテリー交換」の手順シールを全シリーズに貼付するなど、時代のニーズに敏感に対応した22機種44タイプという幅広い商品群となっております。



[特長]

1. 自己放電の少ない新耐食性カルシウム合金を採用「全グレード」
2. エンジン始動性を向上「全グレード」
3. ロング保証を実現「全グレード」
4. 業界で初めて「バッテリー交換」の手順シールを貼付「全グレード」
5. 高温耐久性を実現「HIGH GRADE・EXTRA GRADE」
6. 持ち運び、取付けに便利な“さげ手”つき「HIGH GRADE・EXTRA GRADE」
7. 充電状態や液面状態が一目でわかるインジケータつき「HIGH GRADE・EXTRA GRADE」



EXTRA GRADE
90D26R パッケージ

電池および器具販売実績(機械統計)

(平成13年3月及び平成12年4月～平成13年3月累計)

単位:数量=千個、金額=百万円

	单 月				H12.4月～H13.3月累計			
	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比
電池・器具総合計	592,783	68,336	86%	87%	7,107,450	836,461	98%	99%
全電池合計	592,007	66,838	86%	87%	7,094,664	817,011	98%	99%
一次電池計	438,113	15,853	92%	87%	5,076,792	188,819	97%	91%
マンガン乾電池計	108,957	2,322	86%	80%	1,299,508	29,216	85%	74%
単一	12,343	642	90%	83%	153,715	8,264	70%	68%
単二	7,448	276	73%	69%	102,557	3,873	78%	75%
単三	59,799	1,004	87%	85%	669,283	11,521	83%	73%
その他	29,367	400	85%	76%	373,953	5,558	98%	88%
アルカリ乾電池計	141,736	7,836	96%	95%	1,617,763	89,665	97%	93%
単三	93,030	4,612	109%	111%	1,010,992	48,982	99%	97%
単四	30,505	1,639	73%	71%	385,618	20,822	98%	96%
その他	18,201	1,585	90%	87%	221,153	19,861	84%	83%
酸化銀電池	92,971	1,109	105%	96%	991,812	11,797	110%	99%
リチウム電池	90,187	4,385	85%	76%	1,119,558	55,889	107%	99%
その他の乾電池	4,262	201	80%	90%	48,151	2,252	96%	84%
二次電池計	153,894	50,985	73%	87%	2,017,872	628,192	99%	101%
鉛電池計	4,347	15,391	92%	100%	48,398	161,117	101%	104%
自動車用	2,235	7,075	102%	94%	25,437	91,854	103%	102%
二輪用	569	1,000	96%	95%	5,498	10,046	99%	92%
小形シール	1,205	1,216	73%	77%	14,626	14,750	97%	94%
その他	338	6,100	115%	117%	2,837	44,467	120%	117%
アルカリ電池計	111,848	13,640	67%	71%	1,489,578	176,073	94%	91%
完全密閉式	48,887	5,251	93%	83%	603,146	66,516	99%	88%
ニッケル水素	62,935	7,722	55%	64%	886,214	105,222	91%	92%
その他のアルカリ電池	26	667	67%	69%	218	4,335	91%	83%
リチウムイオン電池	37,699	21,954	98%	92%	479,896	291,002	119%	107%
器具計	776	1,498	69%	91%	12,786	19,450	86%	94%
携帯電灯	375	406	54%	65%	7,325	7,113	77%	81%
電池器具	401	1,092	94%	106%	5,461	12,337	103%	104%

電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(平成13年3月及び平成12年4月～平成13年3月累計)

単位:数量=千個、金額=百万円(少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

	单 月				H12.4月～H13.3月累計			
	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比
全電池合計(輸 出)	308,746	33,901	78%	77%	3,835,991	436,255	103%	99%
一次電池計	185,249	3,773	89%	82%	2,141,794	45,691	104%	97%
マンガン	47,638	427	76%	74%	603,343	4,923	94%	85%
アルカリ	28,662	460	86%	76%	324,520	5,834	100%	79%
酸化銀	48,785	597	133%	118%	442,233	5,456	116%	108%
リチウム	57,580	2,225	80%	79%	719,740	28,274	108%	104%
空気亜鉛	1,867	35	63%	67%	22,716	416	102%	80%
他の一次	717	29	167%	41%	29,242	788	136%	66%
二次電池計	123,497	30,127	65%	76%	1,694,197	390,564	101%	99%
鉛蓄電池	785	1,295	78%	89%	8,298	12,066	95%	87%
ニカド	38,417	3,511	90%	80%	485,559	44,823	101%	90%
ニッケル鉄	0	1	0%	8%	785	81	8%	7%
ニッケル水素	48,753	6,052	51%	60%	714,098	85,192	91%	90%
リチウムイオン	28,783	17,261	91%	83%	370,373	219,716	131%	106%
その他の二次	6,759	2,007	36%	72%	115,083	27,688	104%	110%
全電池合計(輸 入)	44,438	4,355	134%	122%	476,117	43,480	111%	108%
一次電池計	38,990	1,132	143%	145%	400,782	11,937	104%	126%
マンガン	12,768	173	145%	132%	120,314	1,691	96%	99%
アルカリ	24,424	458	148%	124%	258,388	5,825	109%	112%
酸化銀	256	10	445%	266%	1,457	45	171%	167%
リチウム	833	96	59%	91%	12,827	1,184	93%	130%
空気亜鉛	274	12	84%	72%	3,634	133	127%	119%
他の一次	435	384	473%	251%	4,163	3,060	113%	204%
二次電池計	5,449	3,223	93%	115%	75,335	31,542	163%	103%
鉛蓄電池	525	1,357	113%	121%	5,922	14,885	116%	119%
ニカド	1,207	416	101%	81%	16,292	6,097	110%	103%
ニッケル鉄	0	1	—	—	8	17	902%	153%
ニッケル水素	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウムイオン	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の二次	3,717	1,449	88%	125%	53,113	10,543	203%	87%

3月度電池および器具販売実績(機械統計)

(平成13年3月)

単位:数量=千個、金額=百万円

	單 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比
電池・器具総合計	592,783	68,336	86%	87%	1,554,326	185,418	87%	88%
全電池合計	592,007	66,838	86%	87%	1,551,841	180,994	87%	88%
一次電池計	438,113	15,853	92%	87%	1,127,472	39,508	92%	85%
マンガン乾電池計	108,957	2,322	86%	80%	293,011	6,050	89%	77%
単一	12,343	642	90%	83%	33,303	1,728	72%	68%
単二	7,448	276	73%	69%	19,488	703	73%	70%
単三	59,799	1,004	87%	85%	153,714	2,422	95%	85%
その他	29,367	400	85%	76%	86,506	1,197	91%	80%
アルカリ乾電池計	141,736	7,836	96%	95%	327,146	18,106	93%	93%
単三	93,030	4,612	109%	111%	216,556	10,685	107%	111%
単四	30,505	1,639	73%	71%	66,521	3,561	73%	72%
その他	18,201	1,585	90%	87%	44,069	3,860	77%	77%
酸化銀電池	92,971	1,109	105%	96%	239,531	2,851	99%	90%
リチウム電池	90,187	4,385	85%	76%	255,549	11,974	88%	79%
その他の乾電池	4,262	201	80%	90%	12,235	527	99%	85%
二次電池計	153,894	50,985	73%	87%	424,369	141,486	76%	89%
鉛電池計	4,347	15,391	92%	100%	11,990	41,991	96%	103%
自動車用	2,235	7,075	102%	94%	6,267	21,614	103%	100%
二輪用	569	1,000	96%	95%	1,399	2,403	94%	89%
小形シール	1,205	1,216	73%	77%	3,483	3,524	81%	85%
その他	338	6,100	115%	117%	841	14,450	120%	118%
アルカリ電池計	111,848	13,640	67%	71%	304,885	36,732	69%	73%
完全密閉式	48,887	5,251	93%	83%	135,666	14,829	92%	90%
ニッケル水素	62,935	7,722	55%	64%	169,163	20,541	58%	64%
その他のアルカリ電池	26	667	67%	69%	56	1,362	71%	71%
リチウムイオン電池	37,699	21,954	98%	92%	107,494	62,763	102%	93%
器具計	776	1,498	69%	91%	2,485	4,424	73%	96%
携帯電灯	375	406	54%	65%	1,294	1,421	57%	71%
電池器具	401	1,092	94%	106%	1,191	3,003	103%	115%

3月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(平成13年3月)

単位:数量=千個、金額=百万円(少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

	單 月				1月～当月累計			
	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比	数 量	金 額	数 量 前年比	金 額 前年比
全電池合計(輸 出)	308,746	33,901	78%	77%	823,363	90,055	82%	81%
一次電池計	185,249	3,773	89%	82%	495,041	10,314	94%	84%
マンガン	47,638	427	76%	74%	143,129	1,117	98%	87%
アルカリ	28,662	460	86%	76%	72,353	1,229	78%	74%
酸化銀	48,785	597	133%	118%	109,747	1,385	126%	117%
リチウム	57,580	2,225	80%	79%	163,019	6,332	86%	84%
空気亜鉛	1,867	35	63%	67%	5,633	98	95%	83%
他の一次	717	29	167%	41%	1,160	153	22%	35%
二次電池計	123,497	30,127	65%	76%	328,322	79,741	69%	80%
鉛蓄電池	785	1,295	78%	89%	1,863	2,891	75%	84%
ニカド	38,417	3,511	90%	80%	102,116	9,508	88%	81%
ニッケル鉄	0	1	0%	8%	206	21	50%	55%
ニッケル水素	48,753	6,052	51%	60%	127,277	15,595	55%	60%
リチウムイオン	28,783	17,261	91%	83%	77,114	45,590	97%	90%
その他の二次	6,759	2,007	36%	72%	19,745	6,136	46%	88%
全電池合計(輸 入)	44,438	4,355	134%	122%	121,897	12,044	131%	117%
一次電池計	38,990	1,132	143%	145%	105,217	3,743	137%	159%
マンガン	12,768	173	145%	132%	30,864	458	104%	107%
アルカリ	24,424	458	148%	124%	67,670	1,374	161%	145%
酸化銀	256	10	445%	266%	1,001	27	712%	441%
リチウム	833	96	59%	91%	3,135	415	84%	151%
空気亜鉛	274	12	84%	72%	1,234	43	110%	95%
他の一次	435	384	473%	251%	1,314	1,426	270%	222%
二次電池計	5,449	3,223	93%	115%	16,680	8,300	102%	105%
鉛蓄電池	525	1,357	113%	121%	1,535	4,004	114%	126%
ニカド	1,207	416	101%	81%	3,719	1,218	97%	88%
ニッケル鉄	0	1	—	—	0	5	5%	181%
ニッケル水素	—	—	—	—	—	—	—	—
リチウムイオン	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の二次	3,717	1,449	88%	125%	11,427	3,073	103%	92%